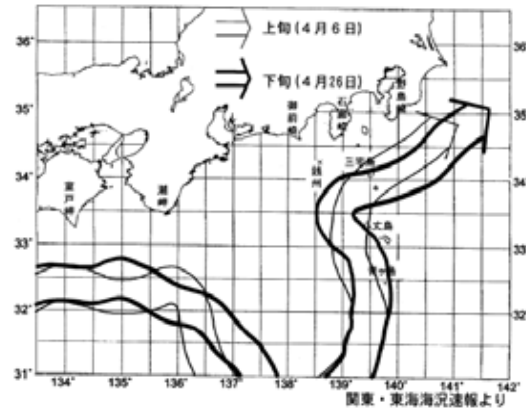


# 漁海況月報

平成30年4月1日

No. 4 ~4月30日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.7	15.8	15.8	17.6	17.0	17.3
	1.0	0.9	0.9	1.5	0.8	2.2
中旬	15.3	15.8	15.5	16.6	17.2	16.7
	0.0	0.4	0.0	0.3	0.5	0.9
下旬	16.6	16.7	16.4	17.8	18.3	18.0
	0.4	0.7	0.2	0.7	0.9	1.3
月	15.8	16.1	15.8	17.4	17.5	17.2
	0.5	0.7	0.3	0.8	0.8	1.4

\*地頭方の水温観測は終了しました。

## 【黒潮流路】

4月を通じてA型で、上旬は潮岬沖32.5°Nから南南東に進み、31°N以南、138°E付近から北東に向かい、32°N、139.5°E付近から八丈島の西を北上し、三宅島の南34°Nから北東に流去した。中旬は潮岬沖32.5°Nから南東に進み、31°N以南、138.5°E付近から、三宅島の東を北北東に流去した。下旬は潮岬沖32°Nから南東に進み、31°N以南、138.5°E付近から北北東に向かい、三宅島の南で小蛇行した後北東に流去した。

上旬前半と下旬後半には、三宅島付近から相模湾へ、また、駿河湾及び遠州灘に向かって、暖水波及がみられた。

## 【県下沿岸域】

4月上旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津「やや高め」、焼津「高め」であった。中旬は、伊東、稲取、下田、雲見、沼津「平年並」、焼津「やや高め」であった。下旬は、伊東、下田「平年並」、稲取、雲見、沼津、焼津「やや高め」であった。

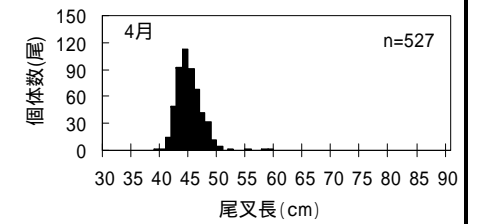
## 【竿釣りカツオ】

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は308トンで前年同月(100トン)の3.1倍であった。魚価は383円/kgで前年同月(425円/kg)を下回った。

漁場は34-35°N、138-140°Eの伊豆諸島周辺海域であり、水揚げされた魚体のサイズは、小(尾叉長43-46cmモード)を主体に、極小(尾叉長42cmモード)、中(尾叉長50cmモード)であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
30年4月上旬	64	17	3.8	513
中旬	92	19	4.8	484
下旬	152	21	7.2	266
30年4月計	308	57	5.4	383
29年4月計	100	11	9.1	425
28年4月計	44	15	2.9	411



御前崎港における測定結果

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は550トンで前年の同漁場の水揚量(352トン)の1.6倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、78.6トンで前年(50.3トン)の1.6倍、平年(昭和57~平成29年の平均71.0トン)の1.1倍であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(209トン、さば類、ブリ、スルメイカ)、次いで川奈漁場(104トン、ブリ、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)の通りで、さば類は275トンで前年比5.4倍、平年比5.4倍と好調で、マサバ主体であった。さば類のうち、マサバは223トンで前年比16.7倍、平年比15.7倍と前年平年を大きく上回ったが、ゴマサバは52.6トンで前年比1.4倍、平年比1.2倍であった。漁獲サイズはマサバもゴマサバも尾叉長30~35cm主体であった。ブリは205トンで前年比1.4倍、平年比2.9倍、銘柄わらさ主体であった。銘柄わらさは204トンで前年比1.4倍、平年比2.9倍であった。スルメイカは41.7トンで前年比3.3倍、平年比2.5倍であった。ヒラマサは3.9トンで前年比66%、平年比65%であった。マアジは3.4トンで前年比69%、平年比3%であった。その他の魚種については、ムツが1.4トンで前年比14.2倍、平年比2.5倍と漁獲量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、さば類は北川漁場が45%(124トン)、川奈漁場が14%(38.1トン)、伊豆山漁場が13%(36.2トン)、ブリは北川漁場が30%(61.7トン)、川奈漁場が27%(55.8トン)、スルメイカは北川漁場が46%(19.3トン)、富戸漁場が23%(9.4トン)、ヒラマサは赤沢漁場が42%(1.6トン)、富戸漁場が38%(1.5トン)、マアジは古網漁場が27%(0.9トン)、川奈漁場が24%(0.8トン)を占めた。

(表)多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	275	5.4	5.4	北川、川奈、伊豆山
ブリ	205	1.4	2.9	北川、川奈、富戸
スルメイカ	41.7	3.3	2.5	北川、富戸、川奈
ヒラマサ	3.9	0.7	0.7	赤沢、富戸、川奈
マアジ	3.4	0.7	0.03	古網、川奈、富戸

**[サバ棒受網・たもすくい]**

小川港所属の棒受網漁船は上旬はたもすくいで操業したが、中旬以降、全船が棒受網に転向した。漁場は月を通じて銭洲海域に形成された。水揚量はマサバ197トン(前年同月比66倍)、ゴマサバ532トン(前年同月比91%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ4.9トン(前年同月0.2トン)、ゴマサバ13.3トン(前年同月27.9トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ122円で前年同月(108円)前月(106円)を上回った。ゴマサバは103円で前年同月(90円)を上回ったが、前月(110円)を下回った。

たもすくいで漁獲されたマサバの体長組成は尾叉長31cmにモードを持つ単峰型、棒受網で漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
30年4月上旬	71	81	4	11	6.4	7.3	201	114	銭洲
中旬	85	134	4	12	7.1	11.2	84	109	銭洲
下旬	41	318	5	17	2.4	18.7	63	98	銭洲
30年4月計	197	532	13	40	4.9	13.3	122	103	銭洲
29年4月計	3	586	9	21	0.2	27.9	108	90	三宅近海、三本
28年4月	453	141	11	37	12.3	3.8	105	101	銭洲 三本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

平成30年4月の出漁日数は8日(前年同月と同じ)、水揚量は143トン(前年同月140トン)で、1日1か統あたりの漁獲量は297kg(前年同月292kg)であった。

主な漁場は、湾奥部(由比沖~富士川沖)に形成された。水揚げされたサクラエビの体長組成は、漁場、漁獲日によって異なるが体長30mm付近にモードを持つ群と38~42mm付近にモードを持つ群があった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統あたり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成30年4月上旬	29.6	1	493	由比沖~富士川沖
4月中旬	4.9	2	41	由比沖~富士川沖
4月下旬	108.1	5	380	由比沖~富士川沖
平成30年4月計	142.6	8	297	-
平成29年4月計	140.4	8	292	富士市沖、富士川沖、三保沖、焼津・大井川沖
平成28年4月計	161.9	7	386	焼津・大井川沖、富士川沖
平成27年4月計	211.5	6	588	焼津・大井川沖

**[シラス船曳網]**

県内主要6港における1日1か統あたりの漁獲量は、駿河湾(静岡、吉田)が704kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が612kgであった。平均水揚量は641kgと前年同期(476kg)の1.3倍、平年同

期(過去5か年平均:611kg)並であった。また、総水揚量は1,473.2トンで前年同期(857.2トン)の1.7倍、平年同期(1,262.6トン)の1.2倍と、前年同期と平年同期を上回った。平均単価は772円/kgと、前年同期(664円/kg)の1.2倍、平年同期(509.9円/kg)の1.5倍と、前年同期と平年同期を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	1日1か統あたり平均漁獲量(kg)	平均単価(円/kg)
新居	114.5	17	211	543	712
舞阪	410.4	17	681	603	721
福田	260.5	18	476	547	920
御前崎	172.5	18	197	876	683
吉田	303.9	21	398	764	810
静岡	211.3	17	334	633	739
平成30年4月計	1,473.2	108	2,297	641	772
平成29年4月計	857.2	88	1,800	476	664
平成28年4月計	1,744.6	91	1,994	875	442

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚げは、小川港では316.6トン(前年同月比1.1倍、平年同月比1.6倍)、沼津港では516.8トン(前年同月比51.6%、平年同月比1.6倍)、伊東港、静岡港では水揚げは無かった。カタクチイワシの水揚げは、沼津港では5.1トン(前年同月比7.3倍、平年同月比3.7倍)であった。伊東港、静岡港、小川港では水揚げは無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが2.0kg、カタクチイワシが24.0kgであった。

\*平年:過去5か年(平成25~平成29年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

4月 3日 ~ 4月 5日	地先定線観測調査	(3日間)
4月 8日	焼津みなと祭り一般公開	(1日間)
4月 9日	公共用水域水質測定調査	(1日間)
4月 10日	CTD、TBC ネット習熟訓練	(1日間)
4月 11日	イワシ類卵稚仔分布調査	(1日間)
4月 16日 ~ 4月 17日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(2日間)
4月 24日	計量魚群探知機校正	(1日間)
4月 26日 ~ 4月 27日	サバ標識放流調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

